

## 百蔵山～扇山 & ななちゃん編集する

2006 年 11 月 06 日 02:50 友人の友人まで公開

4 view



11/1。

気分が晴れず、もんもんとしていた屋下がり。

山に行きたいな。

でも一人で行くのは寂しいなあ(最近、やけに寂しがり屋)。こんなとき、突然山に誘って行ってくれるような、ヒマそうな人はいるのかな…。そして思い当たった 1 名にメールしてみると、その夜、その人から電話が来る。第一声がこれ。

「どしたんや。行き詰まったんか」(関西弁)

この関西人の響きに、ぐぐっときつつ、山の話をするに面倒くさがられ…。(山よりも岩盤浴に行こうとか言いやがって…。) でも翌日の返事で、山に行ってくれるってことになった。ありがとう、RYU さん!! そして RYU さん経由で、酒を飲んでたマロちゃんも、二つ返事でメンバー入りが確定。やった、パーティー結成!!!! というわけで、(前置き長すぎ…)

-----

11/3 百蔵山～扇山 晴れ!! (以下、山行記録)

百蔵山と扇山は標高 1000m 強の低山。最寄り駅は中央本線の猿橋駅。知人が既にこの山に行ったことがある話を聞いていたので、この山を選んだ。(そして、裏テーマとして、実は先月 5 年ぶりに登山靴を買い換えたので(今までの靴、なんと皮の一部分がはげました…) その足慣らしもしたかったこと。それには

ちょうどいい山です。)

6:40 御茶ノ水集合 →(JR)→ 8:42 猿橋駅着

9:00 猿橋駅発 →(バス)→ 9:10 百蔵山登山口

9:20～10:20(登り)、10:20～10:50(百蔵山山頂)

荷物も軽いせいか、とにかく3人とも快調だった。百蔵山では予定のコースタイム 1 時間 40 分の登りも、1 時間で登頂(休憩なし)。その分、山頂で 30 分以上はまったりできた。百蔵山からは下界の街並みがよく見えた。(そうそう、持ってきたはずのシャボン玉、帰宅後やっぱり部屋で発見しました…。)

10:55～13:00 (百蔵山～扇山の稜線)

次の扇山へは、百蔵山(約 1000m)から 810m 地点まで下って、扇山(約 1100m)に登る稜線上のルート。所々で急登が多く、しかも足元の落ち葉が湿っているので、みんなで何度もこけまくり。最後の扇山への登りはきつかった。それでも山頂付近は緩やかな坂で、紅葉が始まりかけた秋山を楽しめた。

⇒写真 1 山頂付近の風景。明るい山でしょ!? でも紅葉はまだまだ!?

13:00～14:20(扇山山頂)

山頂到着!! しかも芝生がある!!(でも手入れがされているわけではない、ちょっと枯れた感じの芝生がまた、秋山を感じさせてくれたかな!?) そして早速寝転ぶ。寝転んだ地面の方があたたかい。見上げれば青空。空が近い。ほっと一息。

ここで、昼ごはん。コンソメスープとカフェオレが温かくて美味しかったなあ!! (で、結局山頂で 1 時間以上のんびり。)

⇒写真 2 扇山。扇といえば、やっぱりポーズはこれでしょう!! 「ピー!! 扇!!」

14:20～15:20(下山)

「君恋温泉」目指して。君に恋する温泉、か…。くー…。

(ちなみに下山ルートの所々に「君恋温泉」手作りの看板があり、それをたどれば下山口に温泉あり。)

15:20～16:40(君恋温泉)

小さな旅館。日帰り入浴は可能だったが、2～3 人用の小さな風呂。入浴中は他の登山客がいなくてちょうどよかった。また和室が休憩所として開放しており、みそ田楽(旅館の手作りと思われる、トロトロしてる柔らかかったこんにゃくだった)のサービス付き(これで 500 円)。

今回は、とにかくのんびり山行でよかった。山頂でもまったりできたし。歩行時間も 4 時間ちょっとで、その

間も 3 人でいろんなことを話しながら歩けたのもよかった。おつかれさまでした。

-----

と、ここで一日が終わるはずだったけど、帰りに RYU さんがどうしても行きたい所があり、でもそこはどうしてもマロちゃんが行きたくない所で...

結局、そのような場所に 1 度だけ行ったことのあるおれが先導しながら、行ってしまいました(その間、マロちゃんごきげんななめだったような...) そうです、そこは...

秋葉原名物、メイドカフェ。

萌え～!!

(萌え～!! の使い方は間違っているかもしれない...。)

さて 1 軒目。ここは 1 時間待ちの人ばかりができており、パス。2 軒目は 10 人待ちくらいの店でとりあえず

並ぶことにした。それにしても、なんでこんなに大盛況なんだろう…。

そしていよいよ入店。そしてメイドが一言。

「ご主人様、お嬢様、おかえりなさいませ～」

……。

店内は満席。半数以上は常連と思われる。(おれらのような興味本位で来ていた人もいたとは思うけど、少なくともおれらは浮いていた気がする。) ここの店の特徴としては、メイドと神経衰弱等のゲームができたり(メイドに勝つと、メイドの写真が撮れるらしい。ちなみに1回500円)。またステージもあり、客のリクエストによって、メイドのショーが始まる。この日は、ななちゃんというメイドがバトンのショーをしていたが、見かけによらずバトンさばきもうまいし、体も体操選手のように回転させるし、なかなかよかった、と思う。そうか、メイドも一芸がないと採用されないのかもしれない…。

(あ、マロちゃんがひいてる…。)

で、とりあえず、腹ごしらえということで、団子の形をしたオムライスと、ハート型のお好み焼きを食べ、店を出ることにした。まあそれなりの味。

⇒写真3 オムライスの上にケチャップで書かれてあるのは、店名「メイド・イン」とハートマーク。

店を出るときには、メイドから一言。

「ご主人様、お嬢様、行ってらっしゃいませ～」

(その後、別の居酒屋で飲みなおし。マロちゃんのごきげんがまっすぐになってくれたならよかったんだけど、なんて。また飲もうね～。二人とも、今日は本当にありがとう!!(^^))